

## 浜松湖北高生が 中小企業を取材

浜松市内の中小企業の魅力をブログで発信している浜松湖北高校（浜松市北区）商業科の生徒が二十日、市内五カ所の事業所を訪れ、仕事の内容ややりがいを取材した。

同校は四年前からLPガス販売エネジソン（中区）と連携し、同社のブログサイト「エネフィブログ」に企業紹介の記事を連載している。

訪問先のうち、北区の浜松義肢製作所には生徒五人が訪れた。義肢装具士の伊藤泰崇さん（三〇）の案内で足をサポートする

### エネジソン連携 魅力ブログで発信へ

装具の加工作業を見学したり、足をけがした人のための装具を身に着けたりした。

伊藤さんは、仕事で大切にしていることを生徒に問われ、「製作所には急に体が不自由になり、不安になっている人が来る。親身に相談に乗り、正確な仕事をするように心掛けていく」と答えていた。生徒たちは製作所に年間で三千件もの依頼があると知り、驚きの声を上げていた。

三年の斎藤彩人さん（一七）は「取材を通して、手足が不自由な人のために自分がどんな配慮をできるか考えたいと思った」と話していた。取材を基にした記事は十一月中旬にエネフィブログに掲載される。

（小佐野慧太）



装具を加工する伊藤泰崇さんの作業を見学する生徒ら。浜松市北区の浜松義肢製作所で

2021年（令和3年）10月22（金）中日新聞